

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成26年2月10日
【四半期会計期間】	第50期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	第一交通産業株式会社
【英訳名】	DAIICHI KOUTSU SANGYO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 亮一郎
【本店の所在の場所】	福岡県北九州市小倉北区馬借二丁目6番8号
【電話番号】	093(511)8840
【事務連絡者氏名】	専務取締役 垂水 繁幸
【最寄りの連絡場所】	福岡県北九州市小倉北区馬借二丁目6番8号
【電話番号】	093(511)8840
【事務連絡者氏名】	専務取締役 垂水 繁幸
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期連結 累計期間	第50期 第3四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	61,455	65,806	87,850
経常利益(百万円)	3,870	4,298	5,914
四半期(当期)純利益(百万円)	1,788	2,189	2,864
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,936	2,489	3,236
純資産額(百万円)	25,452	28,971	26,769
総資産額(百万円)	137,538	146,817	137,551
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	91.48	111.97	146.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	17.5	18.7	18.4

回次	第49期 第3四半期連結 会計期間	第50期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	43.38	47.64

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感から円安や株価の上昇等、景気回復の兆しが見られましたが、円安に伴う輸入商品や燃料価格の高騰等は、企業収益や家計へ悪影響を及ぼしており、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループのキャッチコピーを従来の「明日の快適生活環境を創造する。」から「総合生活産業」へ改め、グループ経営の強化を図っております。当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は65,806百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は4,491百万円（同8.6%増）、経常利益は4,298百万円（同11.1%増）、四半期純利益は2,189百万円（同22.4%増）となりました。

なお、当社グループの不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、業績に季節的変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### タクシー事業

タクシー業界においては、「タクシー適正化・活性化特別措置法」に基づく需給調整による減車・休車の影響で、1台当たり各種実績は上向いておりますが、政権交代後の円安や株価の回復による景気上昇局面においても、いまだ大きな好転はなく、厳しい状況で推移しております。

当社グループにおいては、「おもてなしの心」を念頭に置き、飲酒運転撲滅とタクシー代行運転の推進、女性乗務員による丁寧な接客面や出張・旅行者向けに「全国タクシー予約センター」のPRのほか、「安全は最良のサービス」「安全運転は全てに優先する」をモットーに安全運転研修の実施、乗務員の若返り及び定着を図るための乗務員採用に注力してまいりました。また、タクシー自動配車アプリ「モタク」の対象を枚方市周辺、仙台市、東京都の一部に拡大し、全国で3,210台が対応しております。更に、交通系ICカードなど電子マネー決済端末のPR、3カ国語同時通訳サービス（英語・中国語・韓国語）の24時間対応等により、利用者の利便性向上と他社との差別化を図りました。平成25年7月以降には、北九州市・福岡市・敦賀市・枚方市・仙台市・札幌市等で「ママサポートタクシー」サービスを順次運用開始し、助産師から講習を受けた乗務員が対応することで、妊産婦にやさしい環境づくりに貢献しております。

以上の結果、売上高は39,989百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、燃料価格が高騰している中で営業所の統廃合による合理化と様々な経費削減に取り組んだことと、過去の大型買収1件ののれん償却が前連結会計年度に終了した結果、セグメント利益は1,196百万円（同5.7%増）となりました。

タクシー認可台数は、当第3四半期連結累計期間において、兵庫県相生市の相生神姫タクシー株式会社（18台）、長崎県佐世保市の三光タクシー株式会社（17台）、北海道函館市の株式会社寿ハイヤー（42台）、沖縄県うるま市の合名会社あづまタクシー（13台）、京都市の八光タクシー株式会社（146台）、和歌山市の湊タクシー株式会社（19台）の買収並びに5社（73台）からの事業譲受等による増加を含めて、前連結会計年度比303台増加の7,634台となりました。

なお、平成25年12月に買収した兵庫県尼崎市の名神タクシー株式会社（32台）、福岡市の株式会社長住タクシー（33台）につきましては、買収後まもなく、かつ四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

## バス事業

バス事業においては、沖縄県内の路線バス部門では、現金利用者が生活防衛意識から回数券・定期券へシフトし、自家用車通勤者も燃料価格の高騰に伴い、バス通勤に切り替える傾向にあります。那覇バスでは、「モデル性の高い基幹的公共交通」実証実験への協力、那覇市内観光周遊バス「那覇ま〜い ゆいゆい号」の運行のほか、ノンステップバスの増便など、利便性の向上を図っております。一方で、貸切バス部門においては、沖縄県への入域観光客は、円安と国際航空便の増加に伴う外国人観光客の増加に加え、景況感の改善から増加した国内観光客に対応するため、那覇空港と県内主要リゾートホテルを結ぶ「エアポートライナー」の運行を開始しております。また、バスガイド・乗務員で構成する音楽ユニットによる営業活動も、集客に功を奏しております。

以上の結果、バス事業全体では台風接近の減少もあり、売上高は5,693百万円（前年同四半期比5.5%増）となり、燃料価格が高止まりしている中で経費削減に取り組んだ結果、セグメント利益は254百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。バス認可台数は、前連結会計年度比3台減少の728台となっております。

## 不動産分譲事業

不動産分譲業界においては、地価下落が下げ止まり傾向にあり、税制優遇拡充などの各種政策、消費税率の引き上げや金利上昇を意識した購入マインドが市場を下支えしております。

このような状況の下、当社グループのマンションにおいては、生活利便性の高いエリアでの供給に注力し、北九州エリアでは「グランドパレス安部山公園ステーションサイド」（106戸）ほか1棟（74戸）、福岡エリアでは「アーバンパレス井尻クレア」（48戸）ほか2棟（46戸）、久留米エリアでは「アーバンパレス六ツ門セントラルベース」（90戸）、飯塚エリアでは「アーバンパレス新飯塚駅マークプレイス」（91戸）、沖縄エリアでは「グランドパレス牧志センターコート」（39戸）ほか1棟（32戸）、東京エリアでは「アーバンパレス葛西」（43戸）、埼玉エリアでは「アーバンパレス東松山」（62戸）、山梨エリアでは「アーバンパレス甲府丸の内」（66戸）を新規販売いたしました。売上高は、共同事業を含む新規の竣工引渡し物件及び完成在庫の販売により、6,544百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

戸建住宅におきましては、「暮らしを潤す低価格な土地付住宅」をテーマにした第一ホーム㈱の「ユニエクセラ」シリーズを、北九州市エリアでは「門司黒川星見台」（72区画）ほか7団地（59区画）、京築エリアでは「荻田愛美の社」（36区画）ほか2団地（11区画）、福岡市エリアでは「前原北」（22区画）ほか10団地（70区画）、神戸市の「唐櫃台」（5区画）、大阪府泉南市の「熊取」（27区画）を新規販売し、順調に推移した結果、売上高は4,131百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

その他468百万円を加えた不動産分譲事業全体の売上高は、11,144百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は、前連結会計年度末において商業施設の所有目的の変更による店舗の賃料収入469百万円及びセグメント利益278百万円を不動産賃貸事業へ計上したことにより、506百万円（同37.1%減）となりました。

## 不動産賃貸事業

不動産賃貸業界では空室率が改善傾向にあり、特に都心部の人気エリアでは賃料も上昇傾向にあります。また、入居希望者が内部造作を自由に選べる「カスタマイズ賃貸」も増加傾向にあります。貸店舗等のテナント募集では、厳しい状況が残るものの、空室期間が短縮するなど明るい兆しがあります。

当社グループでは、平成25年11月より、北九州・福岡・大分・宮崎・鹿児島地区のビルテナント及びタクシー等で利用できる「第一交通産業グループ共通クーポン券」を発行し、テナント利用の促進を図っております。また、福岡県行橋市内においては、各戸ホームセキュリティ完備の新築賃貸マンション（3LDK24戸）を着工しました。なお、北九州・宮崎地区では、飲食テナントビルの夜間オープンルームにより入居募集活動を展開しております。売上高は、前連結会計年度末において商業施設の所有目的の変更による店舗の賃料収入の増加により、2,711百万円（前年同四半期比22.8%増）、セグメント利益は1,425百万円（同28.3%増）となり、管理物件は17道府県で1,977戸となりました。

## 金融事業

当社グループにおける金融事業の融資残高は、堅調な不動産市場を背景に、良質資産の積極的な積上げを行う一方、不良資産の縮減に努めた結果、不動産担保ローンは13,026百万円（前連結会計年度比30百万円増）、無担保ビジネスローンは施策的な抑制により93百万円（同21百万円減）となった結果、総融資残高は13,120百万円（同9百万円増）となりました。また、不動産再生部門では、福岡市内のテナントビルのほか、宮城県黒川郡の山林の購入など積極的な営業活動とエリア拡大を図っております。

売上高につきましては、不動産再生部門における東京都中央区のテナントビル、熊本市のマンション用地などの譲渡の結果、4,635百万円（前年同四半期比37.6%増）となり、セグメント利益は873百万円（同60.2%増）となりました。

## その他事業

その他事業においては、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等により、売上高は1,632百万円（前年同四半期比30.5%増）、セグメント利益は251百万円（同3.6%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	78,000,000
計	78,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,613,600	19,613,600	福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	19,613,600	19,613,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	19,613,600	-	2,027	-	2,214

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区 分	株式数（株）	議決権の数（個）	内 容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 62,400		
完全議決権株式（その他）	普通株式 19,550,600	195,506	
単元未満株式	普通株式 600		1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	19,613,600		
総株主の議決権		195,506	

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合（％）
第一交通産業株式会社	北九州市小倉北区 馬借二丁目6番8号	62,400		62,400	0.31
計		62,400		62,400	0.31

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役 (非常勤)	-	新井 治夫	平成25年12月31日

### (2) 役員の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役 (非常勤)	-	取締役	福岡営業、海外事業、 トラベル担当	新井 治夫	平成25年 8 月 1 日
取締役副社長	経営管理、財務、関連 事業担当 兼 不動産・ 分譲事業統括本部長	取締役副社長	経営管理、財務、関連 事業担当	大塚 泉	平成25年 9 月 1 日
専務取締役	不動産開発・用地担当	取締役副社長	不動産・分譲事業統括 本部長	原 久司	平成25年 9 月 1 日
専務取締役	不動産開発・用地担当 兼 分譲事業部北九州 支店、大阪地区担当	専務取締役	不動産開発・用地担当	原 久司	平成25年10月 1 日



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,942	12,822
受取手形及び営業未収入金	2,318	2,308
営業貸付金	12,781	12,792
たな卸資産	24,195	30,747
その他	3,521	3,376
貸倒引当金	741	707
流動資産合計	53,018	61,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,896	21,618
土地	46,320	46,876
その他(純額)	4,674	5,036
有形固定資産合計	72,891	73,531
無形固定資産		
のれん	983	1,095
その他	333	284
無形固定資産合計	1,316	1,380
投資その他の資産	<sup>1</sup> 10,324	<sup>1</sup> 10,565
固定資産合計	84,533	85,477
資産合計	137,551	146,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,827	7,151
短期借入金	24,212	29,482
未払法人税等	1,251	505
賞与引当金	463	132
その他	6,050	7,102
流動負債合計	39,805	44,373
固定負債		
長期借入金	59,142	61,626
退職給付引当金	1,606	1,683
役員退職慰労引当金	1,878	1,965
利息返還損失引当金	34	-
その他	8,314	8,196
固定負債合計	70,976	73,472
負債合計	110,781	117,846
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,027	2,027
資本剰余金	2,214	2,214
利益剰余金	26,786	28,678
自己株式	67	67
株主資本合計	30,961	32,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	310
土地再評価差額金	5,753	5,738
その他の包括利益累計額合計	5,588	5,427
少数株主持分	1,396	1,545
純資産合計	26,769	28,971
負債純資産合計	137,551	146,817

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	61,455	65,806
売上原価	50,589	54,561
売上総利益	10,865	11,245
販売費及び一般管理費	6,729	6,753
営業利益	4,136	4,491
営業外収益		
補助金収入	155	183
その他	652	628
営業外収益合計	808	811
営業外費用		
支払利息	936	886
その他	138	118
営業外費用合計	1,074	1,004
経常利益	3,870	4,298
特別利益		
固定資産売却益	31	53
特別利益合計	31	53
特別損失		
固定資産除売却損	157	190
投資有価証券評価損	32	-
退職給付制度終了損	68	-
特別損失合計	257	190
税金等調整前四半期純利益	3,643	4,162
法人税、住民税及び事業税	1,280	1,579
法人税等調整額	488	237
法人税等合計	1,769	1,817
少数株主損益調整前四半期純利益	1,874	2,344
少数株主利益	85	155
四半期純利益	1,788	2,189

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,874	2,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	145
その他の包括利益合計	62	145
四半期包括利益	1,936	2,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,852	2,334
少数株主に係る四半期包括利益	83	154

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産	1,076百万円	1,156百万円

2. 保証債務

連結会社以外の会社及び当社分譲物件購入者の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
(医)湘和会 湘南記念病院	445百万円	(医)湘和会 湘南記念病院 487百万円
第一ケアサービス(株)	11	第一ケアサービス(株) 7
金融事業融資先(1社)	630	当社分譲物件購入者(182名) 448
当社分譲物件購入者(196名)	498	
計	1,585	計 943

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループの不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、第4四半期連結会計期間の売上高が高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	2,049百万円	2,141百万円
のれんの償却額	566	325

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月17日 取締役会	普通株式	195	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	97	5	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月23日 取締役会	普通株式	195	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月7日 取締役会	普通株式	97	5	平成25年9月30日	平成25年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	38,962	5,396	10,268	2,207	3,369	60,204	1,251	61,455	-	61,455
セグメント 間での内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	2,959	2,959	2,959	-
計	38,962	5,396	10,268	2,207	3,369	60,204	4,210	64,414	2,959	61,455
セグメント 利益	1,132	292	804	1,111	545	3,885	261	4,146	9	4,136

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 9百万円には、セグメント間取引消去95百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 105百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	39,989	5,693	11,144	2,711	4,635	64,174	1,632	65,806	-	65,806
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	3,274	3,274	3,274	-
計	39,989	5,693	11,144	2,711	4,635	64,174	4,907	69,081	3,274	65,806
セグメント 利益	1,196	254	506	1,425	873	4,255	251	4,507	16	4,491

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 16百万円には、セグメント間取引消去88百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 104百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度末において、所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、「不動産賃貸」について、売上高が469百万円及びセグメント利益が278百万円多く計上されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	91円 48銭	111円 97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,788	2,189
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,788	2,189
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,551	19,551

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間終了後四半期報告書提出日までの間における配当に関する取締役会決議の内容については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(株主資本等関係)」に記載のとおりであります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

第一交通産業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小淵 輝生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 只隈 洋一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている第一交通産業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、第一交通産業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。